

平成 31 年度第 1 回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和元年 7 月 3 日（水）午後 3 時 30 分から 4 時 45 分まで
2. 開催場所 文化センター2 階かおりホール（中ホール）
3. 出席者 委員 松上委員 森委員長、上田委員、多賀委員、野崎委員、浅野委員
事務局 井上教育長（挨拶のみ）、石田文化センター長、
岸下主査補 長谷川主任主事
4. 傍聴者 なし
5. 議題 ①平成 30 年度事業実施報告（公 開）
②平成 31 年度事業計画について（公 開）
③その他（公 開）
6. 配布資料 資料① 平成 30 年度事業報告
資料② 平成 31 (2019) 年度事業計画
資料③行政経営改革 施設の運営方法の検討資料

7. 会議での確認・承認事項

①平成 30 年度事業及び平成 31 年度事業の経過確認

8. 議 事 以下のとおり

	<p>教育長及び課長挨拶の後、会長を森委員、副会長を松上委員に決定、井上教育長退室後、森会長の司会により、会議を進める。</p>
事務局	<p>事務局より、資料①に沿って平成 30 年度の事業報告を行う。</p> <p>平成 30 年度も、事業計画に沿って、すべての事業を行うことができた。一般投映の来館者数は、過去 25 年間の中で、機器をリニューアルした 2015 年に次ぐ多さであった。また、昨年度行った料金の改定により、歳入も過去最大であった。</p> <p>今後の課題は、一般投映の来館者数の伸び悩みについて。投映回数、番組制作に手間をかけているわりに、市内の一般投映来館者数が伸びない。イベント投映には、多く足を運んでくれる。</p>
●●委員	<p>一般投映が伸び悩んでいるというが、長い目で見ていくと、ひよこプラネタリウムや子ども投映に足を運び、星好きになった子どもたちが、大きくなって一般投映にも足を運んでくれるのではないか。</p>
●●委員	<p>長い事、白井と関わりをもってきたが、こんなに色々行事を行っていることを知らなかった。もっとやっていることをアピールしてはどうか。自分の様に、興味があるのに知らなかったという人が多いのではないか。</p>

事務局	情報をどう広めるか。広報活動は、常に課題である。
●●委員	一般投映の回数を減らしてみてもどうか。人数の割合を見ると、半数は、学校・幼児団体である。学習投映に軸をうつすのはどうか。
事務局	実際、他館では、効率を考えて、一般投映の時間を20分間に短くしたところがある。白井のプラネタリウムは、生涯学習施設であるとともに、学校等の教育にも携わる施設であり、来館者数が、一般と学習で半々という現状は、理にかなっている。
●●委員	高齢化が進んでいるので、プラチナアワーの様な、シニア向け投映を増やすのも良い。
事務局	プラチナアワーは木曜、土曜に行っているが、土曜の来館者が少ないので、週1回にする案もでた。しかし、手間をかけて制作した番組が1回投映なのはもったいないという事で、今年度も週2回投映している。回数を増やすだけでは、来観者数は増えない
●●委員	自分に照らし合わせてみると、年配者は土曜日より、平日の方が来館しやすい。土曜日は別のことをするのにまわす。また、一般の人が多く来館する日を避けようとするかもしれない。
事務局	東日本大震災前までは平日にも一般投映を行っていたが、節電と効率を考えてやめた経緯がある。
●●委員	2011年からこの8年で、高齢者人口は増えている。
●●委員	イベント投映の多い月と少ない月でばらつきがあるのはなぜか。
事務局	例えば、「ひよこ」などは毎月行いたいだが、学習が立て込むんでいる時や、夏休み等、3回投映が続く時は行わない。プラチナやジャズアワーなどの音楽・リラクゼーション投映は奇数月に行い、にんさんぷらネタリウムは、年6回を振り分けている。そこにライブ等を入れていくと、ばらつきがでる。白井は、イベント投映が多く、来観者数を増やしているが、一般投映にも足を運んでもらいたい。
●●委員	平成30年度事業について、他に意見はないか。

	では、平成 30 年度事業について説明をお願いします。
事務局	平成 31 年度事業は、ほぼ例年通りの内容で行う。 今年、アポロ 11 号が月面着陸してから 50 周年で、月の話題が多い事から番組や講座は、月をテーマに組み立てた。 料金については、10 月の消費税率の変化により、市内の団体大人と子ども、市外大人と市外団体子どもが 10 円づつアップする。また、身障者等の手帳の提示により、手帳を保有する本人及びその介護者が無料となった。この 3 ヶ月程で、38 人の利用があった。
●●委員	今年プラネタリウム開館 25 周年だが、なにかイベントは行うのか。
事務局	特に行っていない。現在行っている番組「現在過去未来 Part2」のなかで少し取り上げている程度。
●●委員	ドーム貸し切り事業を新たに開始したが、貸し出しは平日のみになるのか。
事務局	ドームが空いていれば、土曜日の午前中でも可能である。実際の使用はなかったが、問い合わせは 2 件あった。
●●委員	他館も同じような貸し出し料金なのか。（白井は 1 時間 3 万円）
●●委員	東大和は、特に規定がなく、無料である。上の人許可が取れば貸し出す。
事務局	新しくできた有楽町のプラネタリア TOKYO は 1 時間 15 万円。
●●委員	1 回実績ができると、情報が流れ、申し込みが増えると思う。
事務局	白井は、営業時間中で、ドームが空いている場合のみ貸し出す。館の閉館日、に貸し出すと、館の空調や人件費等がかかり、高くついてしまう。しかし、赤字で受けても、PR 効果は高いであろう。
●●委員	受けるかどうか、企画をみて迷う場合がある。 最近受けたものは、ドーム使用の打ち合わせが何回もあり、時間が多くとられ、人件費もかさんでしまった。 障がい者手帳の来館者の話が出たが、こちらにも、情報が伝わり、これからもっと増えてくると思う。

●●委員	貸し出しについて、ここ最近白井の学校で、映画やテレビの撮影が続けてあったが、やはり口コミで情報が広がっているのではないか。
事務局	1時間3万という金額は高くはないか。
●●委員	高くない。利用したい人と条件があうかどうか重要。
●●委員	職業体験は、中学生、夢びったり体験は小学生か。
事務局	職業体験は中学2年生が2日間程、夢びったりは小学6年生が半日程やってくる。
●●委員	立春式とはなにか
事務局	<p>最近では職業体験を行う学校も増えてきたが、白井では他に先駆け、戦後から職業体験学習を行ってきた。これは、中学生が、昔の元服の年にあたることから、進路学習の一環として、自分の適性にあった職業を決めるきっかけづくり、仕事の苦勞や喜びを知るためにおこなってきた。</p> <p>以前は、白井のどこの学校でも中学2年生で立春式という形で式典を行っており、その一環で陶芸等の制作活動を行っていたのが、今のような職業体験に発展してきたという経緯がある。</p>
●●委員	現在は中学2年生が、皆の前で、自分は「こうゆうふうにしていきます。進んでいきます」と体育館でみんなの前で宣言するのを立春式といっている。その準備のための職業体験という意味もある。
●●委員	そのほか31年度事業について意見、質問はあるか。 では、次のその他の議題についてお願いします。
事務局	<p>市の行政経営改革実施計画の中に、「市の公の施設の運営方法の検討と実施」という項目があり、プラネタリウム施設もその検討施設に組み込まれている。今年度中に、検討結果を出すうえで、運営協議会委員の皆さまにもご意見をいただきたい。</p> <p>近隣のプラネタリウム館の現状について、資料③「行政経営改革 施設の運営方法の検討と実施」を見ながら説明。</p>

	<p>近隣の状況は、規模や運営方法など、あまり参考にならないかもしれない。今後、白井と同程度の規模（12mドーム）で、複合施設の館を中心にアンケート等をとって、運営方法を見ていきたい。</p> <p>白井は現状のような、市職員、非常勤職員で投映・事業を行う直営館としてやっていきたい。教育機関として続ける価値がある施設なのか、市で運営するメリットは何なのかも根本に立ち返り検討していく。また、今まで白井で行ってきた25年間の取り組みもアピールしていきたい。</p> <p>次回の運営協議会の前までに、問題点の洗い出し等を行い、議題にあげたい。</p> <p>野崎委員所属するプラネタリウムは市の直営であるが、このような運営方法の検討は行っているのか。</p>
<p>●●委員</p>	<p>検討事項にあげられるが、東大和は、プラネタリウム担当職員が1人なので、委託するより費用が安いということで、事案が取り下げられた。また、博物館施設として、学校対応を行っており、そのような施設は委託より直営が良い、という意見がある。</p> <p>北見の館などは、いったん委託に出したが、また直営に戻したという経緯がある。また、八王子も直営館なので、意見を聞くと良い。</p>
<p>事務局</p>	<p>八王子は、投映を東急コミュニティに委託している。</p>
<p>●●委員</p>	<p>しかし、白井ほど多くの内容があると、委託できないのではないかと。</p>
<p>事務局</p>	<p>一応、白井の現状を維持し、運営を行った場合どれほどの予算が必要か業者に見積もりを依頼しようと思う。松戸（委託）に少し聞いてみたが、松戸では投映があるときは2人、ない時は1人の職員を配置。投映は土・日・祝日で、平日は団体投映のみ。これで委託費用は1500万円程といわれた。</p>
<p>●●委員</p>	<p>しっかりと見積り依頼をした方が良い。東大和で見積もりを依頼した時、事業内容を見て、人員配置は3人必要といわれた。それで、委託費は1,900万円程だった。東大和では、市職員1人の人件費を1,000万円と見積もり、委託より直営の方が安いという結論がでた。市の職員が2人だったら、委託になっていたかもしれない。金額が全てではないが、金額が大きく影響すると思う。なので、直営担当者でしかできないことをしっかり打ち出すことが重要。</p>
<p>事務局</p>	<p>指定管理にすることにより、表だっちは見えないが崩壊しているところもある。</p>

●●委員	今回、図書館、郷土資料館は、検討対象にあげられなかったのか。
事務局	図書館は、職員はそのまま、非常勤職員を委託にした場合の見積もりをとって、現状のほうが安いとわかった。
●●委員	それぞれ個別に指定管理か、直営かで検討しているのか。
事務局	文化センターは指定管理にするのが難しい施設なので、委託か直営かというところで、まず図書館のあり方から検討にはいった。図書館は直営の方針で進めている。その流れで、次にプラネタリウムと会館の検討が行われている。プラネタリウムは、会館に比べて、学習施設としての役割が大きく、他館よりもプログラムも多く、この25年間の積み重ねで、価値が上がり、評価もされている。教育委員会としては直営が望ましいと考えるが、委託運営についてもメリット、デメリットを精査し検討したいと考えている。
●●委員	他に意見はないか。 では、これで令和元年第1回目のプラネタリウム館運営協議会を終了する。
	以上